

北海道横断自動車道（黒松内～余市）
計画段階評価の試行

平成23年12月6日

国土交通省北海道開発局

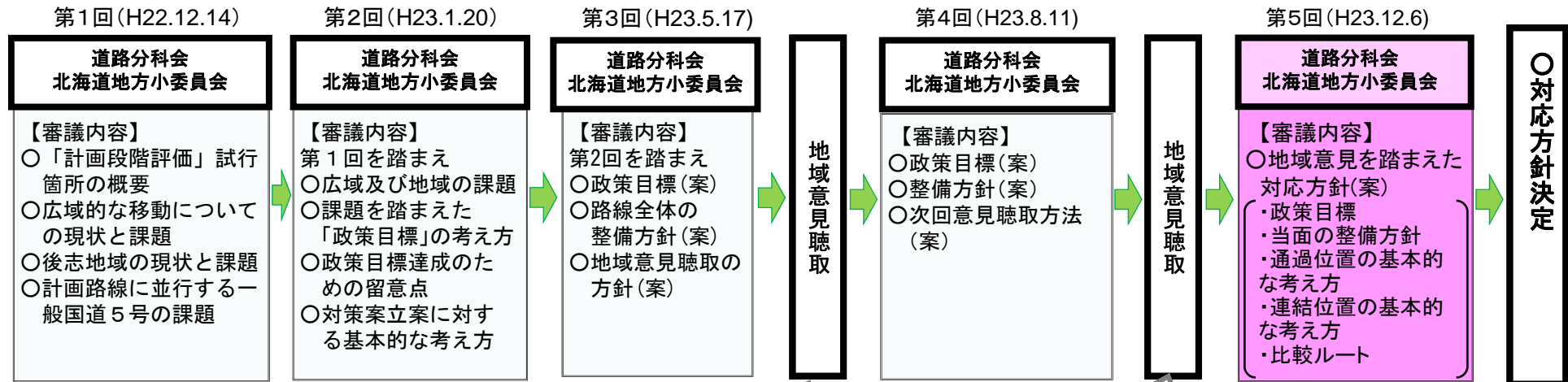
1. 前回までの審議経過と本日の審議内容 … 2
2. 地域意見の概要（ヒアリング・アンケート） … 5
3. 地域意見を踏まえた対応方針（案） … 19

1. 前回までの審議経過と 本日の審議内容

1) 前回までの審議経過と本日の審議内容

○ 本日の委員会では、第2回地域意見聴取結果を踏まえた対応方針(案)についてご審議いただく。

▼北海道地方小委員会での審議経過



第1回意見聴取【6.23～8.1】

- 意見聴取の内容
 - ・ 政策目標(考え方)について
 - ・ 整備方針(考え方)について
 - ・ 国道の課題について
 - ・ 通過位置の基本的な考え方(案)について
- 意見聴取の対象
 - ・ 後志地域20市町村、その他関係団体16団体
- 方法
 - ・ 面談による聞き取り調査
- 実施主体
 - ・ 国土交通省北海道開発局

第2回意見聴取【9.7～10.27】

- 意見聴取の内容
 - ・ 政策目標(案)について
 - ・ 当面の整備方針(案)について
 - ・ 通過位置の基本的な考え方(案)について
 - ・ 連結位置の基本的な考え方(案)について
 - ・ 比較ルート(案)について
- 意見聴取の対象
 - ・ 後志地域20市町村、その他関係団体16団体、後志地域の住民、その他道路利用者等
- 方法
 - ・ 市町村・関係団体：ヒアリング
 - ・ 地域住民・道路利用者：アンケート配布調査・WEBアンケート調査
- 実施主体
 - ・ 国土交通省北海道開発局

2) 前回(第4回)委員会でのご指摘に対する回答

項目	主な指摘事項	対応	資料
政策目標	1 ・政策目標の達成度評価では、時間短縮など定量的な項目が多いが、冬期の自動車の運転では、時間短縮だけではなく安全安心という観点が重要と考える。今回の試行というプロセスも踏まえ、定性的なものであっても、安全安心や防災などの項目を加え、政策目標に応じた評価を検討していくべき。	・冬期課題や安全・安心に対する項目として、ヒヤリハット箇所解消や冬期所要時間の短縮等について指標化してアンケートに記載しました。	参考資料1 P6
整備方針	2 ・連結位置の考え方については、沿線の市街地アクセスだけでなく、防災の観点から、沿岸地域などへのアクセスという視点も入れてはどうか。	・連結位置の基本的な考え方(案)における配慮事項として、「災害時の効率的な避難活動・被災地支援活動が可能な幹線道路や市街地との接続」を追加しました。	参考資料1 P7
意見聴取	3 ・事業に要する費用や着工から供用までどのくらいの期間がかかるかなど、誰もが疑問に思うことに対し、具体的に示すよう検討するべき。	・主な類似事業の事業期間や事業費を参考としてアンケートに記載しました。	参考資料1 P8
	4 ・北海道横断自動車道(黒松内～余市)の具体的な活用の仕方やまちづくりにどう活かすのかなどについて、地域の意見を引き出すような質問項目の設定を検討するべき。	・地方公共団体及び関係団体へはヒアリングを実施し、地方公共団体へはまちづくりの視点、関係団体へは各団体での事業の効率化の観点から、高規格幹線道路の利活用についてお聞きしました。	参考資料1 P14、16
	5 ・アンケート対象に応じて、質問内容を工夫したり、直接意見聴取を行うことも検討すること。		
	6 ・達成度評価の時間短縮効果は政策目標毎に意味合いが異なるので、例えば医療における短縮時間の意味を示すなど、時間短縮の意義が分かるように示した方が良い。	・調査目的や地域課題などをお示するとともに、高規格幹線道路の整備効果では定量的及び定性的な効果も示しアンケートを実施しました。	参考資料1 P3
	7 ・大震災以降、防災の視点はさらに重要となっているとともに、北海道の経済効果にも目を向ける必要がある。観光に関する資料「第4回委員会(参考資料)」は判りやすく、これを活用してアンケートを行うと良い。		参考資料1 P4
	8 ・ハガキアンケートのみでは判りづらいので、一緒に資料も送付することが有効。		参考資料1 全体
	9 ・ヒヤリハットの解消等、定性的な効果の具体例も示しながらアンケートを行うと良い。		参考資料1 P6

2.地域意見の概要 (ヒアリング・アンケート)

1) 調査の方法

項目	【ヒアリング】	【アンケート】
対象	<ul style="list-style-type: none"> ■沿線7町長 ■その他後志管内13市町村長 ■関係16団体 <ul style="list-style-type: none"> ・小樽商工会議所 ・岩内商工会議所 ・黒松内町商工会 ・ニセコ町商工会 ・仁木町商工会 ・手稲溪仁会病院 ・岩内・寿都地方消防組合 ・北海道バス協会 <ul style="list-style-type: none"> ・余市商工会議所 ・倶知安商工会議所 ・蘭越町商工会 ・共和町商工会 ・北海道トラック協会 ・北後志消防組合 ・羊蹄山ろく消防組合 ・後志観光連盟 	<ul style="list-style-type: none"> ■沿線7町住民 <ul style="list-style-type: none"> ・黒松内町 ・蘭越町 ・ニセコ町 ・倶知安町 ・共和町 ・仁木町 ・余市町 ■その他後志管内13市町村住民及び道路利用者
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> ■事前に設問を記した地域意見聴取調書を送付し、面談で聞き取りを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ■沿線7町は全世帯配付 ■その他後志管内市役所、役場及び後志管内の道の駅、医療施設等の公共施設などにおいて留め置きにて実施 ■北海道開発局ホームページでWEBアンケートを実施
実施期間	<ul style="list-style-type: none"> ■平成23年9月7日～10月27日 	<ul style="list-style-type: none"> ■配布・回収期間：平成23年9月22日～10月21日
配布・回収票数	<ul style="list-style-type: none"> ■20市町村・16団体 	配布票数：29,780票 回数票数：3,002票（平成23年10月21日付け消印まで） 票数内訳（郵送2,323票、投函箱655票、WEBアンケート24票）

2) 設問内容

- 前回(第4回)委員会にてご議論いただいた①政策目標(案)、②当面の整備方針(案)、③通過位置の基本的な考え方(案)、④連結位置の基本的な考え方(案)、⑤比較ルート(案)の5つについてご意見をお聞きした。
- 市町村及び関係団体については、前回委員会の議論も踏まえ、上記設問に加え、地域づくりや事業効率化の視点から、高規格幹線道路の利活用の考え方についてご意見をお聞きした。

【後志管内市町村・関係団体ヒアリング】

- 問1 政策目標(案)について
- 問2 当面の整備方針(案)について
- 問3 通過位置の基本的な考え方(案)について
- 問4 連結位置の基本的な考え方(案)について
- 問5 比較ルート(案)について
- 問6 高規格道路の利活用について(自治体:地域づくりの視点、関係団体:各団体での事業効率化の視点)
- 問7 其他のご意見

【地域住民・道路利用者アンケート】

回答者属性

(性別、居住地、職業、運転頻度、日常の移動手段、道路利用の主な目的、高速道路の利用頻度)

- 問1 政策目標(案)について
- 問2 当面の整備方針(案)について
- 問3 通過位置の基本的な考え方(案)について
- 問4 連結位置の基本的な考え方(案)について
- 問5 比較ルート(案)について
- 問6 其他のご意見

3) 政策目標(案)について

【設問 1】

後志地域の政策目標を設定しましたが、重要だと思われるものを全てお選び下さい。(複数回答)

【結果】

▼市町村・関係団体ヒアリング

	市町村	関係団体
1. 暮らし①:後志地域から高次医療施設がある札幌市、小樽市への搬送時間の短縮	18	14
2. 暮らし②:市街地、線形不良区間における走行性向上	12	12
3. 観光:新千歳空港から主要観光地であるニセコエリアへの速達性向上	14	9
4. 物流①:国際コンテナの通行支障区間の解消	7	8
5. 物流②:峠部・市街地部などの通行支障区間解消による速達性・安全性の向上	16	11
6. 防災:北海道縦貫自動車道が持つ広域交通機能を、地震・火山等大規模災害時に代替するルートを確認	19	14
7. 拠点間交流:道央圏内の拠点都市間を繋ぐ環状機能の確保	12	9
合計	98	77

N=20

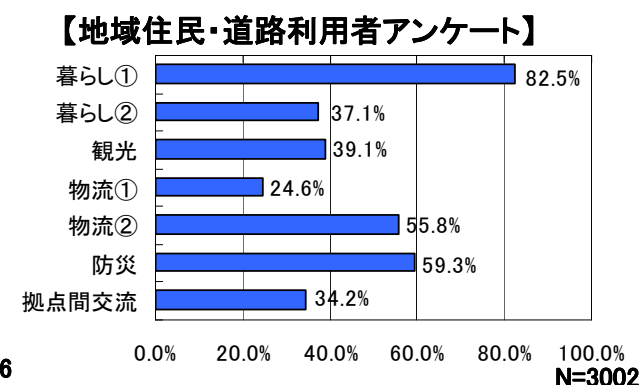
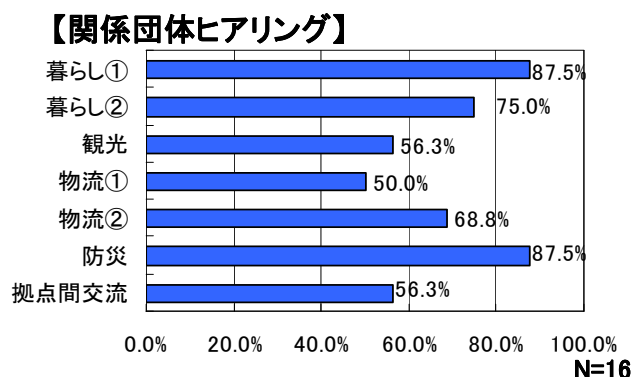
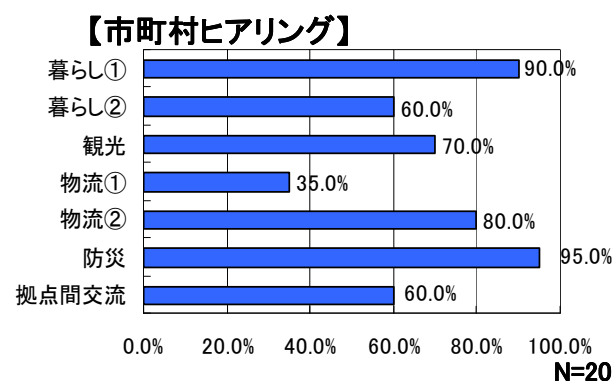
N=16

▼地域住民・道路利用者アンケート

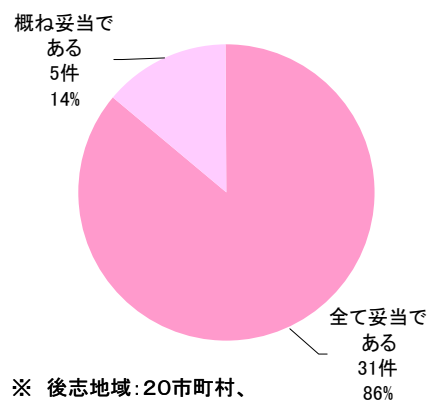
	住民・道路利用者
1. 暮らし①:後志地域から高次医療施設がある札幌市、小樽市への搬送時間の短縮	2,478
2. 暮らし②:市街地、線形不良区間における走行性向上	1,114
3. 観光:新千歳空港から主要観光地であるニセコエリアへの速達性向上	1,174
4. 物流①:国際コンテナの通行支障区間の解消	737
5. 物流②:峠部・市街地部などの通行支障区間解消による速達性・安全性の向上	1,675
6. 防災:北海道縦貫自動車道が持つ広域交通機能を、地震・火山等大規模災害時に代替するルートを確認	1,780
7. 拠点間交流:道央圏内の拠点都市間を繋ぐ環状機能の確保	1,028
合計	9,986

3) 政策目標(案)について

- 政策目標(案)については、第1回意見聴取でヒアリングした全ての市町村・関係団体から妥当もしくは概ね妥当との意見をいただいております、今回のヒアリングにおいても同様に全ての項目について重要との意見をいただきました。
- 特に、ヒアリング・アンケートともに「暮らし①」(高次医療施設がある札幌・小樽方面への速達性)と「防災」(大規模災害時に代替するルートを確認)を重要とする意見が多く、地域の安全・安心に資する政策目標への期待が大きいことを確認した。



▼第1回ヒアリング結果(参考)



【政策目標(案)】

- 暮らし①: 後志地域から高次医療施設がある札幌市、小樽市への搬送時間の短縮
- 暮らし②: 市街地、線形不良区間における走行性向上
- 観光: 新千歳空港から主要観光地であるニセコエリアへの速達性向上
- 物流①: 国際コンテナの通行支障区間の解消
- 物流②: 峠部・市街地部などの通行支障区間解消による速達性・安全性の向上
- 防災: 北海道縦貫自動車道が持つ広域交通機能を、地震・火山等大規模災害時に代替するルートを確認
- 拠点間交流: 道央圏内の拠点都市間を繋ぐ環状機能の確保

4) 当面の整備方針(案)について

【設問2】

政策目標を効果的に達成していくため、当面の整備方針として「政策目標に対する現道の使われ方からの評価」や「現道課題からの評価」を行い、課題が大きい区間(倶知安～余市間)については、別線で整備することを検討することとし、現道の走行性が比較的高い区間(黒松内～倶知安間)については、当面現道を活用する案を設定しましたが、あてはまるものを一つお選びください。

【結果】

▼市町村・関係団体ヒアリング

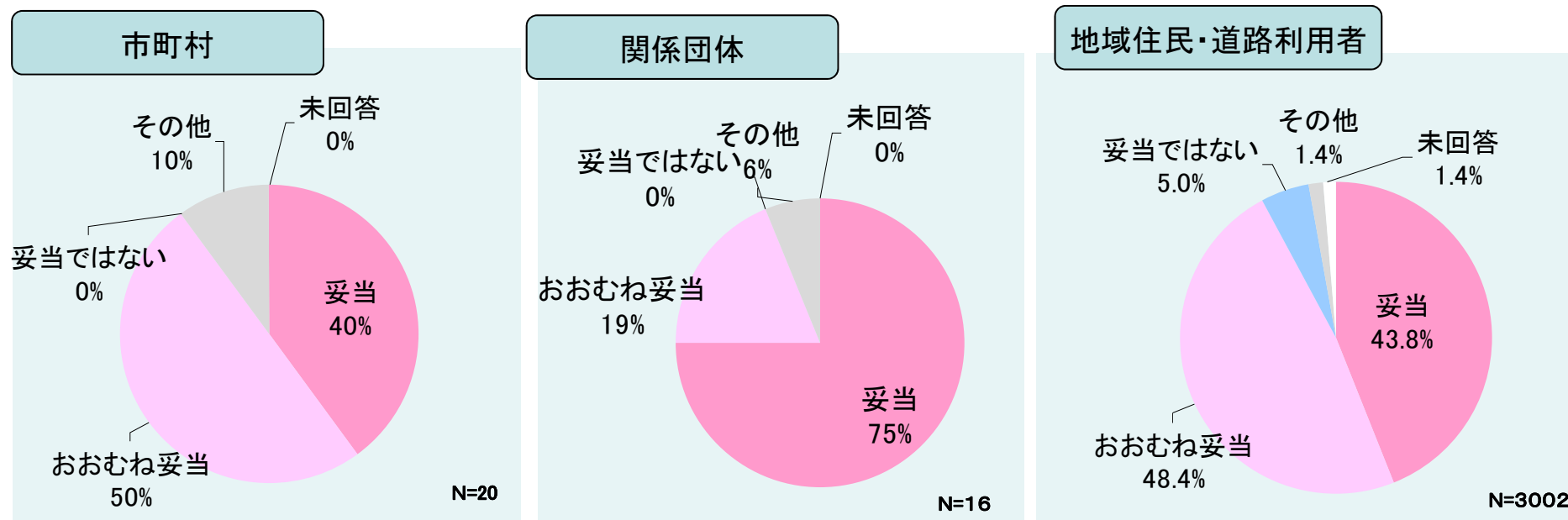
	市町村	関係団体
①. 妥当	8	12
②. おおむね妥当	10	3
③. 妥当ではない	0	0
④. その他	2	1
未回答	0	0
合計	20	16

▼地域住民・道路利用者アンケート

	地域住民・道路利用者
①. 妥当	1,315
②. おおむね妥当	1,453
③. 妥当ではない	150
④. その他	43
未回答	41
合計	3,002

4) 当面の整備方針(案)について

○ 当面の整備方針(案)については、市町村・関係団体ヒアリングおよび地域住民・道路利用者アンケート全てにおいて、全体の約9割の方から「妥当」「概ね妥当」とする意見をいただいた。



5) 通過位置の基本的な考え方(案)について

【設問3】

通過位置(案)における配慮事項のうち、妥当と思われるものを全てお選びください。(複数回答)

【結果】

▼市町村・関係団体ヒアリング

	市町村	関係団体
①. 構造物(コスト)を抑制するため、JRや河川の横断を考慮	13	12
②. 地域分断を避けるため、市街地及び農地を考慮	16	11
③. 国立公園・国定公園・希少種の生息地や埋蔵文化財包蔵地等の自然環境に考慮	18	12
④. その他のコントロールポイント(既存の公共施設等)を考慮	12	7
⑤. その他(具体的な内容記入)	2	2
合計	61	44

▼地域住民・道路利用者アンケート

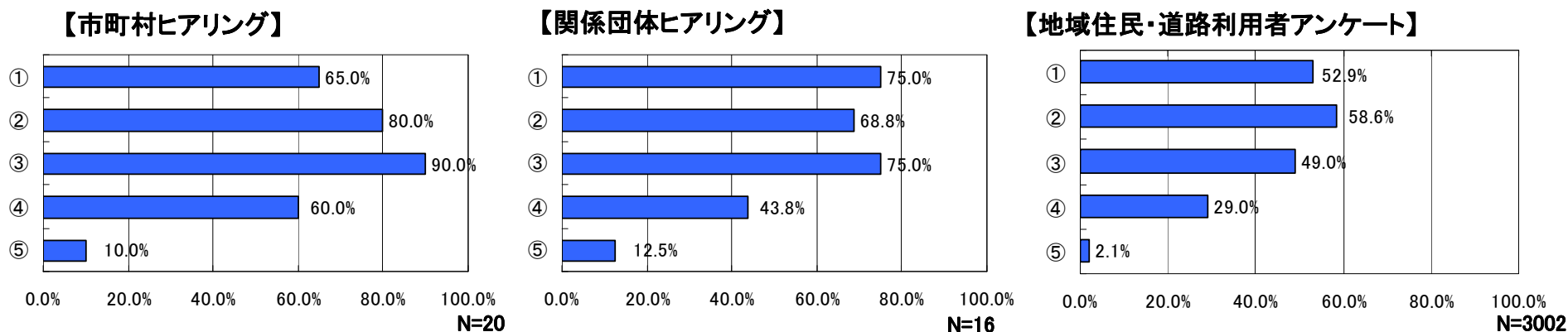
	地域住民・道路利用者
①. 構造物(コスト)を抑制するため、JRや河川の横断を考慮	1,588
②. 地域分断を避けるため、市街地及び農地を考慮	1,758
③. 国立公園・国定公園・希少種の生息地や埋蔵文化財包蔵地等の自然環境に考慮	1,472
④. その他のコントロールポイント(既存の公共施設等)を考慮	871
⑤. その他(具体的な内容記入)	62
合計	5,751

5) 通過位置の基本的な考え方(案)について

- 通過位置の基本的な考え方(案)については、市町村ヒアリングにおいて、設定した配慮事項(①～④)全てを妥当とする意見が6割以上となっている。
- 関係団体ヒアリングおよび地域住民・道路利用者アンケートにおいても、配慮事項①～③を妥当とする意見が概ね5割以上を占めており、設定した通過位置の配慮事項について、妥当とする意見を多くいただいた。

▼通過位置の基本的な考え方(案)についての意見

(注)複数回答可能のため、全回答者数に対する選択率で表示



- ① 構造物(コスト)を抑制するため、JRや河川の横断を考慮
- ② 地域分断を避けるため、市街地及び農地を考慮
- ③ 国立公園・国定公園・希少種の生息地や埋蔵文化財包蔵地等の自然環境に考慮
- ④ その他のコントロールポイント(既存の公共施設等)を考慮
- ⑤ その他

6) 連結位置の基本的な考え方(案)について

【設問4】

連結位置の基本的な考え方(案)における配慮事項のうち、妥当と思われるものを全てお選びください。(複数回答)

【結果】

▼市町村・関係団体ヒアリング

	市町村	関係団体
①. 市街地、リゾートエリア等の地域づくりの拠点施設からの利便性	17	9
②. 各方面に集散する交通を円滑に流動させることが可能な主要幹線道路との接続	18	13
③. 災害時の効率的な避難活動・被災地支援活動が可能な幹線道路や市街地との接続	18	12
④. その他(具体的な内容記入)	0	4
合計	53	38

▼地域住民・道路利用者アンケート

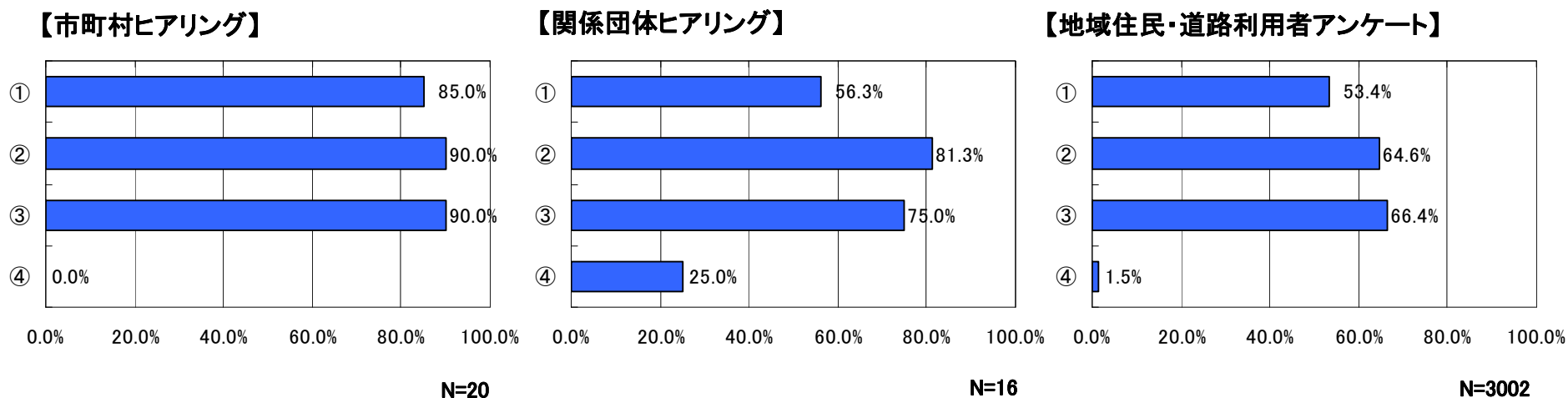
	地域住民・道路利用者
①. 市街地、リゾートエリア等の地域づくりの拠点施設からの利便性	1,604
②. 各方面に集散する交通を円滑に流動させることが可能な主要幹線道路との接続	1,939
③. 災害時の効率的な避難活動・被災地支援活動が可能な幹線道路や市街地との接続	1,992
④. その他(具体的な内容記入)	44
合計	5,579

6) 連結位置の基本的な考え方(案)について

- 連結位置の基本的な考え方(案)については、市町村ヒアリングにおいて、設定した配慮事項(①~③)全てを妥当とする意見が8割以上となっている。
- 関係団体ヒアリングおよび地域住民・道路利用者アンケートにおいても、全ての配慮事項(①~③)を妥当とする意見が5割以上を占めており、設定した連結位置の配慮事項について、妥当とする意見を多くいただいた。

▼連結位置の基本的な考え方(案)についての意見

(注)複数回答可能のため、全回答者数に対する選択率で表示



- ①市街地、リゾートエリア等の地域づくりの拠点施設からの利便性
- ②各方面に集散する交通を円滑に流動させることが可能な主要幹線道路との接続
- ③災害時の効率的な避難活動・被災地支援活動が可能な幹線道路や市街地との接続
- ④その他

7) 比較ルート(案)について

【設問5】

当面の整備方針(案)をもとに、別線整備が必要な区間として『倶知安～余市IC』を設定し比較ルートを設定しましたが、2つの案についてどう思われますか。あてはまるものを一つお選びください。

【案①】共和町・岩内町方面(国道276号)からのアクセス性を重視したルート

【案②】道央と道南方面を連絡する際など路線延長短縮による時間短縮を重視したルート

【結果】

▼市町村・関係団体ヒアリング

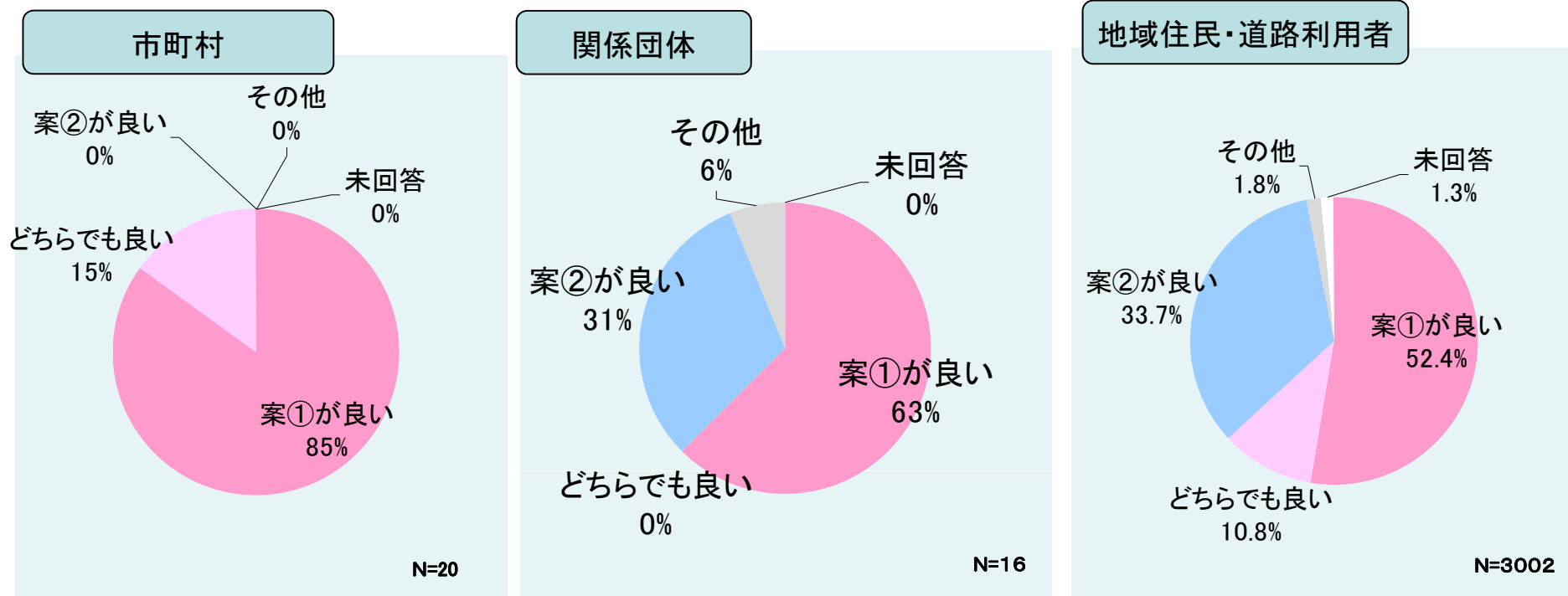
	市町村	関係団体
1. 案①が良い	17	10
2. 案②が良い	0	5
3. どちらでも良い	3	0
4. その他(具体的な内容記入)	0	1
未回答	0	0
合計	20	16

▼地域住民・道路利用者アンケート

	地域住民・道路利用者
1. 案①が良い	1,574
2. 案②が良い	1,011
3. どちらでも良い	323
4. その他(具体的な内容記入)	54
未回答	40
合計	3,002

7) 比較ルート(案)に対する評価

○ 比較ルート(案)については、市町村ヒアリング結果として、8割以上の市町村が案①が選択するとともに、関係団体ヒアリングでは6割以上、地域住民アンケートにおいても過半数が案①を選択するなど、市町村・関係団体・地域住民・道路利用者全てにおいて案①とする意見を最も多くいただいた。



8) 高規格幹線道路の利活用について

▼高規格幹線道路の利活用に関する意見概要(後志管内20市町村・関係団体)

- 「暮らし」について、14市町村、7団体より意見があり
主な意見としては
 - ・高次医療施設への搬送時間短縮に対する期待
 - ・地域医療支援(地域への医師派遣、札幌から地方への医師通勤)への期待などの意見をいただいた。

- 「観光」については、15市町村、4団体より意見があり
主な意見としては
 - ・ニセコエリアへのアクセス向上による地域振興への期待
 - ・新たな観光コースの確立による地域振興への期待などの意見をいただいた。

- 「物流」については、11市町村、6団体より意見があり
主な意見としては
 - ・速達性や安全性向上による市場拡大や、地域の産業振興・活性化への期待
 - ・高鮮度の農産物の出荷・配送による収益増や、輸送時間短縮による経費削減・経営安定化への期待などの意見をいただいた。

- 「防災」については、7市町村、4団体より意見があり
主な意見としては
 - ・大規模災害時の代替ルートとして、住民の安全・安心の確保への期待などの意見をいただいた。

- 「拠点間交流」については、9市町村、2団体より意見があり
主な意見としては
 - ・主要都市・拠点間の交流の増加や、滞在・滞留型の交流推進による地域活性化への期待
 - ・道内外の人・物の流通による地域間交流の活性化への期待などの意見をいただいた。

3. 地域意見を踏まえた対応方針（案）

1) 政策目標(案)

○ 政策目標(案)については、地域意見を踏まえ、以下のとおり設定。

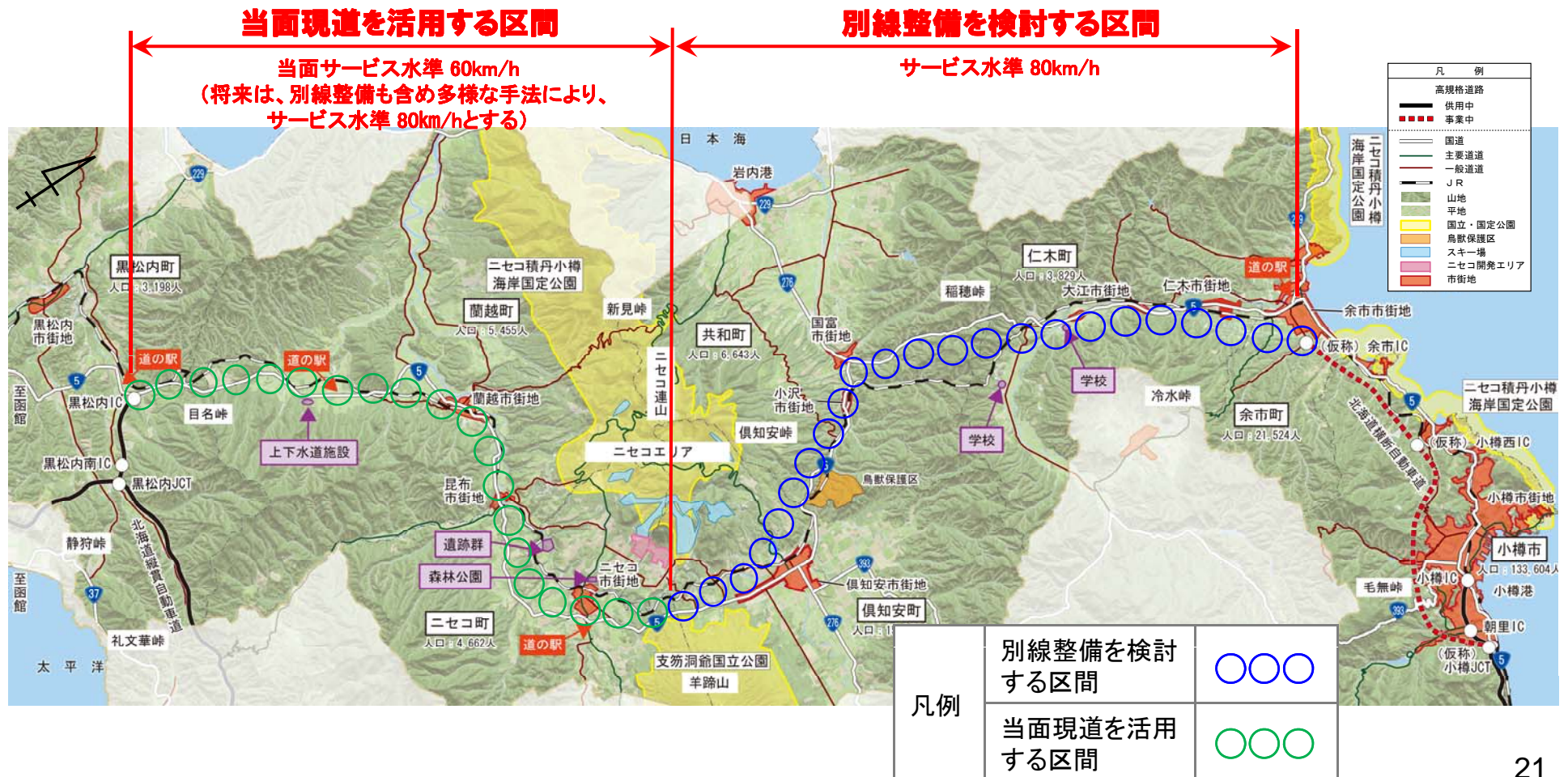
地域の課題(案)		原因	政策目標(案)
暮らし (地域医療)	○ 札幌方面の高次医療施設への速達性が課題	○ 経路上に事故が多発する市街地や峠部などの線形不良区間が存在することにより走行性が低下	○ 後志地域から高次医療施設がある札幌市、小樽市への搬送時間の短縮 ○ 市街地、線形不良区間における走行性向上
観光	○ 高速道路のない後志地域は観光客が立ち寄りづらい地域となっている	○ 新千歳空港から主要観光地ニセコエリアへの速達性が低い ※ ニセコエリアに代表される地域観光資源に対するアクセス性への配慮が必要	○ 新千歳空港から主要観光地であるニセコエリアへの速達性の向上
物流	○ 道南から小樽港への国際コンテナの輸送において、最短経路が利用できない ○ 主な物流経路では大型車関連事故が多発	○ 国道5号に国際コンテナ通行支障区間が存在 ○ 峠部、市街地を中心に大型車の事故が発生	○ 国際コンテナの通行支障区間の解消 ○ 峠部・市街地部などの通行支障区間の解消による速達性・安全性の向上
防災	○ 大規模災害時に物流機能が麻痺	○ 活火山等の災害影響範囲をさけた物流代替機能が脆弱	○ 北海道縦貫自動車道が持つ広域交通機能を、地震・火山等大規模災害時に代替するルートを確保
拠点間交流	○ 道央圏内の地域間の連携機能が脆弱	○ 道央圏の地域間を繋ぐネットワークが不足	○ 道央圏内の拠点都市間を繋ぐ環状機能の確保

2) 当面の整備方針(案)

○ 整備方針(案)については、地域意見を踏まえ、以下のとおり設定。

▼当面の整備方針(案)

○ 政策目標を効果的に達成していくため、「①政策目標に対する現道の使われ方からの評価」、「②現道課題からの評価」を行い、課題が大きい区間(倶知安～余市IC間)については、別線で整備することを検討することとし、現道の走行性が比較的高い区間(黒松内IC～倶知安間)については、当面現道を活用する。



3) 通過位置の基本的な考え方(案)

○ 通過位置の基本的な考え方(案)については、地域意見を踏まえ、以下のとおり設定。

▼通過位置の基本的な考え方

- ① 構造物(コスト)を抑制するため、JRや河川の横断を考慮
- ② 地域分断を避けるため、市街地及び農地を考慮
- ③ 国立公園・国定公園・希少種の生息地や埋蔵文化財包蔵地等の自然環境に考慮
- ④ その他のコントロールポイント(CP)を考慮
 - ・水田、果樹園等の農地
 - ・インフラ施設(上下水道など)
 - ・公共施設(学校など)
 - ・環境保全(森林公園)
 - ・リゾート施設及び施設と一体となって機能する宿泊施設群

自然環境面	自然公園	国立公園、国定公園等	支笏洞爺国立公園、ニセコ積丹小樽海岸国定公園
	史跡・遺構	指定文化財	史跡・天然記念物等(町指定)
	森林	保安林	水源かん養、土砂流出防備、保健、土砂崩壊防備、干害、防風、防霧保安林
	条例等の保全対象	自然環境保全地域等	北海道自然環境等保全条例指定地区等
	その他	鳥獣保護区	鳥獣保護区
生活環境面	市街地	規制区域	騒音・振動規制区域、悪臭規制区域
		その他	学校、病院、福祉施設等

4) 連結位置の基本的な考え方(案)

○ 連結位置の基本的な考え方(案)については、第4回委員会での意見ならびに地域意見を踏まえ、以下のとおり設定。

▼連結位置の基本的な考え方

連結位置選定の基本的な考え方(案)

- ①市街地、リゾートエリア等の地域づくりの拠点施設からの利便性
- ②各方面に集散する交通を円滑に流動させることが可能な幹線道路との接続
- ③災害時の効率的な避難活動・被災地支援活動が可能な幹線道路や市街地との接続

▼連結位置に関する地域意見



4-2) 別線整備を検討する区間(倶知安～余市IC間)の概ねの連結予定位置(案)

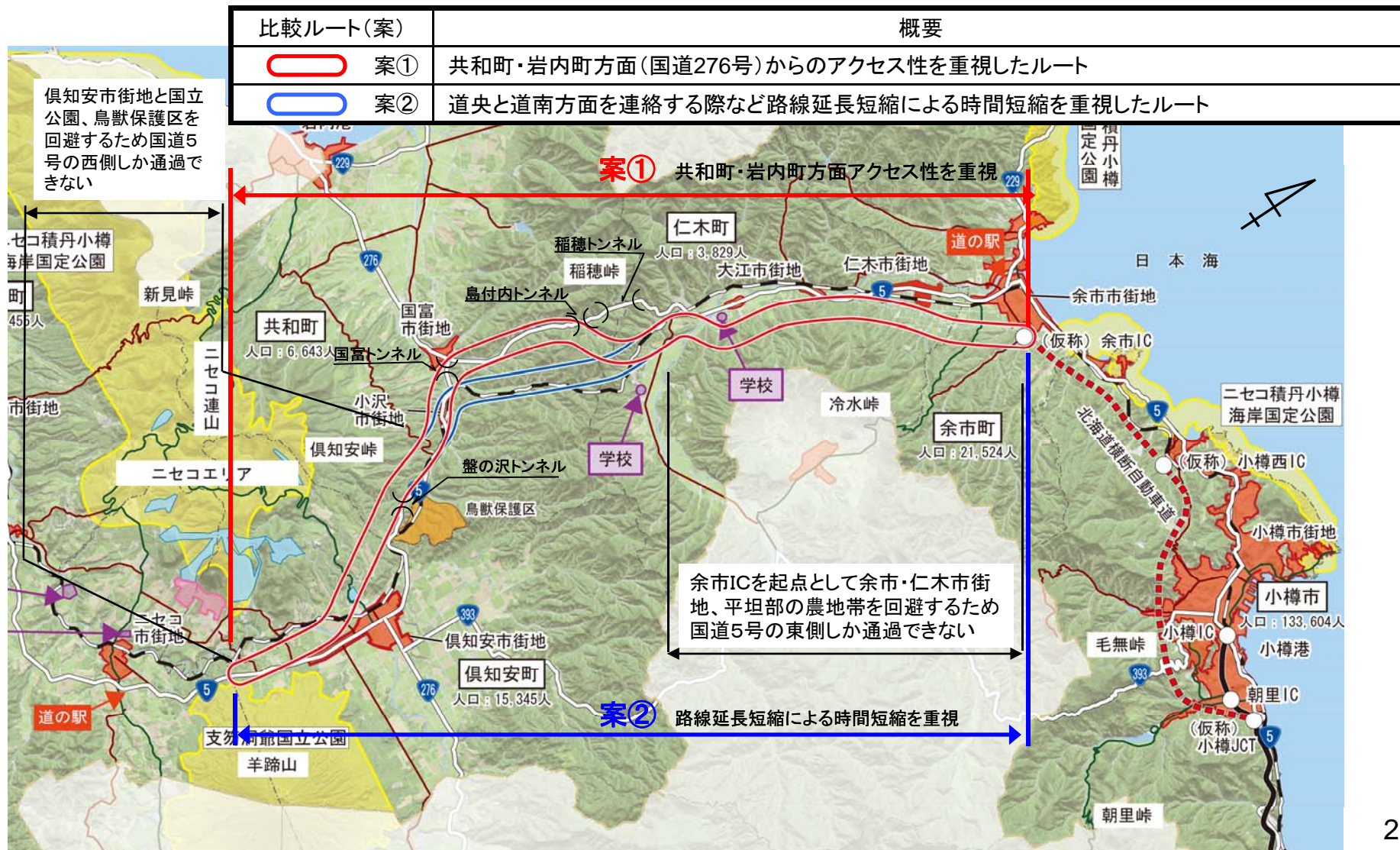
○ 連結位置の基本的な考え方(案)、および連結位置に関する地域意見を踏まえ、別線整備を検討する区間(倶知安～余市IC間)の概ねの連結予定位置を以下のとおり設定。



連結位置の基本的な考え方		(1)	(2)	(3)	(4)
①	市街地、リゾートエリア等の地域づくりの拠点施設からの利便性	・道道蘭越ニセコ倶知安線	・国道5号	・国道5号	
②	各方面に集散する交通を円滑に流動させることが可能な幹線道路との接続	・倶知安市街 ・新幹線駅 ・ニセコエリア	・国道276号 ・国富市街 ・小沢市街	・道道赤井川仁木線 ・大江市街 ・銀山市街	・仁木市街 ・フルーツパーク仁木
③	災害時の効率的な避難活動・被災地支援活動が可能な幹線道路や市街地との接続				

5) 別線整備を検討する区間(倶知安～余市IC間)の比較ルート(案)

- 別線整備を検討する区間(倶知安～余市IC間)における比較ルート(案)については、ヒアリング・アンケートによる地域意見聴取結果において「案①」とする意見が多数。
- 北海道知事からは、「共和町・岩内町方面からのアクセス性や利便性に配慮するなど、地域の意見を十分に反映」との意見をいただいた。



6) 別線整備を検討する区間(倶知安～余市IC間)の比較ルート(案)

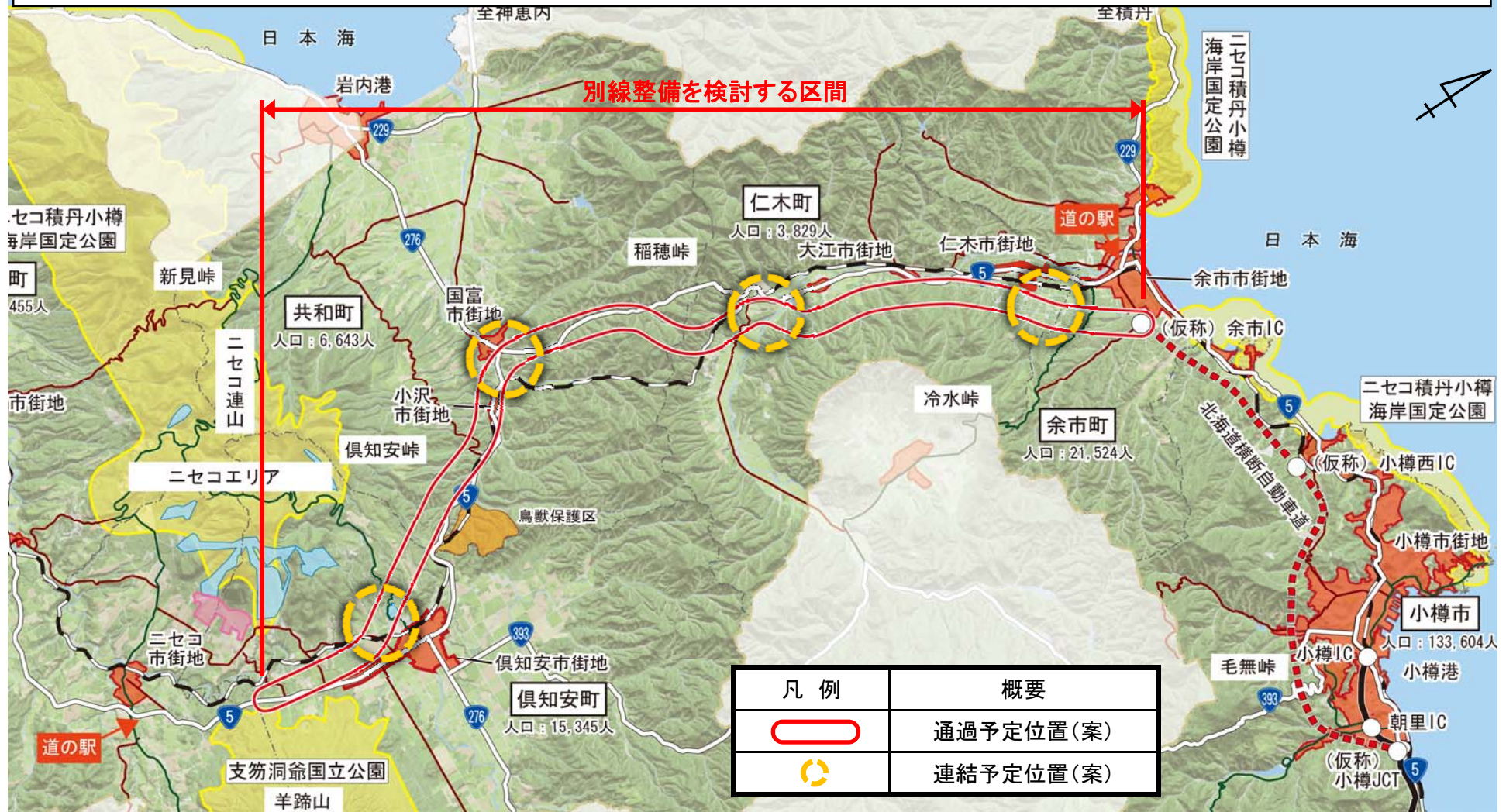
○ 地域意見を踏まえるとともに、沿線のみならず後志地域全体の政策目標への効果を踏まえ、共和町・岩内町方面からのアクセスに配慮した「案①」を選定。

▼比較ルート(案)の特徴

		【案①】	【案②】
概要		共和町・岩内町方面(国道276号)からのアクセス性を重視し、利便性に最大限配慮したルート	路線延長短縮による時間短縮を重視したルート
特徴	速達性	<ul style="list-style-type: none"> 計画延長が案②より長く、移動時間もやや遅い。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画延長が案①より短く、移動時間もやや早い。
	経済性	<ul style="list-style-type: none"> 路線延長は長いですが、急峻な地形部の通過を短縮でき、大規模な構造物を削減できることから事業費は案②と同程度。 	<ul style="list-style-type: none"> 路線延長は短いですが、急峻な地形部の通過が長くなることや、鉄道と交差する回数が多くなることから大規模な構造物が必要となり、事業費は案①と同程度。
	利便性	<ul style="list-style-type: none"> 国道5号経由での共和町・岩内町方面のアクセス性が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 札幌小樽方面から共和町・岩内町へ向かう交通については迂回が生じる。
政策目標への効果	暮らし(地域医療)	<ul style="list-style-type: none"> ■後志地域から高次医療施設がある札幌市、小樽市への搬送時間の短縮(冬期)「倶知安～小樽間」現況 66分 → 整備後 47分 「岩内～小樽間」現況65分 → 整備後 49分 	<ul style="list-style-type: none"> ■後志地域から高次医療施設がある札幌市、小樽市への搬送時間の短縮(冬期)「倶知安～小樽間」現況 66分 → 整備後 46分 「岩内～小樽間」現況65分 → 整備後 51分 ※共和町・岩内町方面からの搬送時は約2分の迂回が発生
		<ul style="list-style-type: none"> ■市街地、線形不良箇所区間における走行性の向上 【市街地】現況 5箇所 → 整備後 0箇所 【峠】現況 2箇所 → 整備後 0箇所 	<ul style="list-style-type: none"> ■市街地、線形不良箇所区間における走行性の向上 【市街地】現況 5箇所 → 整備後 0箇所 【峠】現況 2箇所 → 整備後 0箇所
	観光	<ul style="list-style-type: none"> ■ニセコ町役場～新千歳空港間 現況 2時間50分 → 整備後 2時間05分 	<ul style="list-style-type: none"> ■ニセコ町役場～新千歳空港間 現況 2時間50分 → 整備後 2時間04分
	物流	<ul style="list-style-type: none"> ■函館港～小樽港間の国際コンテナ通行支障箇所の解消 「倶知安～余市間利用」現況 4箇所 → 整備後 0箇所 「岩内～小樽間利用」現況 2箇所 → 整備後 0箇所 	<ul style="list-style-type: none"> ■函館港～小樽港間の国際コンテナ通行支障箇所の解消 「倶知安～余市間利用」現況 4箇所 → 整備後 0箇所 「岩内～小樽間利用」現況 2箇所 → 整備後 1箇所 ※地域内物流である共和町・岩内町方面から小樽・札幌方面間への利用に際し「国富トンネル」「島付内トンネル」「稲穂トンネル」を回避できない
地域意見結果	市町村他	<ul style="list-style-type: none"> 沿線6町、その他11市町村、関係10団体が案①による整備に期待(沿線全7町、その対市町村全13市町村、関係団体全16団体) 	<ul style="list-style-type: none"> 関係5団体が案②による整備に期待
	地域住民	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査で約52%の方々が案①による整備に期待 	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査で約34%の方々が案②による整備に期待

7) 別線整備を検討する区間(倶知安～余市IC間)の整備方針(案)

○ 別線整備を検討する区間(倶知安～余市IC間)については、地域意見を踏まえ、概ねの通過予定位置及び連結予定位置を下記のとおり設定。



※通過予定位置及び連結予定位置については、現時点での概ねの位置であり、詳細については今後検討する。